

知れば知るほど見えてくる。
もの知り“ウググラ博士”のちょっとしたおせっかい。

一年中、体にやさしい温度を保ってくれる高気密・高断熱の家。
実はそこに、心地良い暮らしを支えている
もう一つの大事な要素があります。
それは、良い空気環境を保つための「換気」です。
気密性が高い家だからこそできる、「計画換気」とは——?



いらっしやい! よく来たわね。
さあ、あがってあがって!
今日は本当に寒いわね…あれ?!
わあ…暖かい! 何だろう、このやわらかい感じ。
みんな驚くのよね。この家は玄関も廊下もリビングと温度が変わらなくて、家中が暖かいの。
なるほど。これがウワサの「高気密・高断熱」の家ってわけ? 外観の雰囲気もいいし、窓が木枠なのもかわいいわね。なんだか木の香りもして、空気まで気持ちいい気がするし…。
ホッホー! この家の中は本当に空気も違うんですよ。
きやあ、フ、フクロ…!!

私は、ウググラ博士です。
ウググラ博士! 久しぶりね。今ちょうど、この家の自慢をしようとしていたところよ(笑)。
新居を満喫されているようですね。でも、「高気密・高断熱」だけじゃないんですよ。本当に快適な暮らしを実現するためには、この家のように「計画換気」ができることも重要なのです。
え?! それってどういうこと?

です。でも、それだけの空気を途切れることなく確実に入れ換えることは、そう簡単ではありません。まず、スキ間の少ない家、つまり高気密の家である必要があります。そうでないと、きちんと計画的に換気をすることができませんからね。
でも、スキ間風が入ってくると寒くはなるけど、ある程度「換気」はできているってことなんじゃないの?
それは「計画換気」とは言えないですね——想像してみてください。穴の空いた風船にいくら息を吹き込んでも、空気は抜けてしまつて、うまくふくらみませんよね? それと同じで、スキ間だらけの家にいくら新しい空気を送り込んでも、部屋のすみずみに行き渡る前に、一番近いスキ間からするりと出ていってしまうのです。外気の環境などにも影響されて、換気はけっしてこちらの思い通りにはいきません。

うちのマンションはスキ間風が入ってきて寒いのに…その上、ちゃんと換気もできない家だつてこと!!

「高気密」が可能にする 快適な 「計画換気」。

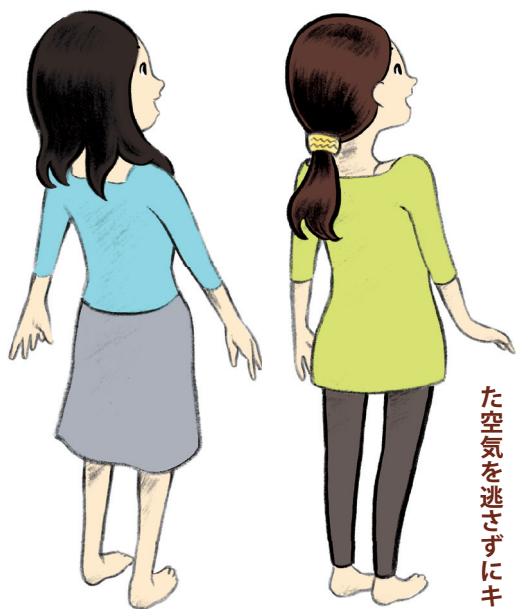
その「気密性」というのはどうやってわかるの?

それは専用の機械を使って「C値」を測定すれば分かります。この家はきちんとC値測定して高気密であることが保証されていますから、大丈夫ですよ。実は「高気密」は、「計画換気」に必要な可欠なだけでなく、「高断熱」にも大きく影響するんです。暖まった空気を逃さずにキープできる



残念ながら…。きちんと必要なだけ空気を入れ換える「計画換気」は、快適な暮らしの必須条件ですが、家の気密性がよくない家では、必要量がしっかり換気されているという保証がどこにもないのです。

この家は「気密性が高い」と言われたけど、それは「計画換気」ができる家だって保証されているといふことだったのね。



その「気密性能があればこそ」「高断熱」も「計画換気」も「高気密」があつて初めて100%活かされる。この3つがそろつてはじめて、真の快適さが実現できるということですね。
暖かくて、空気もおいしい家なんて、本当にうらやましいわ! まさに、夢のマイホームね。うちはいつになるかしら…。
善は急げ、ですよ(笑)。
そうね。さっそく今夜、主人に話してみよう! 家を建てるなら、計画換気ができる気密性があつて、玄関まで暖かい家じゃないとね。
百聞は一見に如かず、よ(笑)! 今度はぜひご主人も一緒に遊びにいらしてね。

「計画換気」を可能にしている「高気密」について、
改めてその意味を教えてくれたウググラ博士。
スウェーデンハウスでは一軒一軒すべての家でC値を測定し、
24時間換気システムを標準装備。
もちろん、断熱性能も一軒一軒、数値でお知らせしています。
凍えるように寒い夜も、
高気密・高断熱・24時間換気システムが3拍子そろった家なら、
ほっこり安らげる快適な時間をお約束します!